

平成 29.8.31

ハワイでの2週間の短期留学が終了しました。今回は、最後の活動となったホストファミリーとのお別れパーティと、帰国後の小田校長先生への報告会についてレポートします。

【ホストファミリーとのお別れパーティ】 →涙、涙の3人

8月27日の日曜日、留学中お世話になったホストファミリーをはじめ、ホノカア高校のHewins副校長先生や先生方、そして生徒たちが、ビーチでのお別れ会を企画してくださいました。

アンジェリーの司会により、ホストファミリーからのお別れのスピーチ、そして、加計高校の3人のスピーチへと続けました。留学生3人は、スピーチだけでなく、ホストファミリーの一人一人に手紙も用意していました。スピーチの最初から最後まで、涙、涙の感動的なシーンが続いていました。



スピーチの後、参加者みんなで夕日を眺めました。とても有意義で楽しかった留学期間の終わりを象徴するかのように、静かに沈んでいく夕日・・・涙、涙。



来年加計高校へ留学する予定のホノカア高校の生徒が、砂浜に『またね』と文字を書いていました。参加者みんなの涙を見て、加計高校とホノカア高校の姉妹校としての友好関係が、さらに深まったことを確信することができました。

↑静かに沈んでいく夕日

【ハワイから日本へ向けての帰路】

8月28日の月曜日、ホストファミリーに見送っていただき、日本へ向けハワイ島のヒロ空港を出発しました。今回の留学中に、ハワイ大学ヒロキャンパスでお世話になった本田先生と偶然空港でお会いしました。



ホストファミリーと(左)本田先生と(右)

本田先生から「加計高校の生徒さんが、来年も訪問されるのを待っています。」と温かいお言葉をいただきました。

【小田校長先生への帰国報告】 →ホノルルから福岡への機内で

日本に帰った翌日、留学生3人は疲れを見せることなく、小田校長先生に帰国の報告を行いました。3人は、「今回のハワイへの留学がきっかけとなり、自分の将来の目標が具体的に定まった。」と、将来就きたい職業名を挙げながら、笑顔で報告をしました。



小田校長先生から、『留学中に多くのこと経験した』ということ、ぜひ自分の自信につなげてほしい。これから困難に直面した時『ハワイであんなことができたのだから、大丈夫、自分にはできる』という気持ちを持ってほしい。』と力強いお言葉をいただきました。

編集後記

加計高校同窓会をはじめ、加計高校とホノカア高校の関係者、保護者、ホストファミリーの皆様のおかげで、大変有意義な研修を行うことができました。参加した3人の生徒も姉妹校の架け橋としての役割を十分に果たし、自分たち自身も2週間でもかなり成長できたと確信しています。往路と復路での機内での表情の違いに、それがしっかりと現れていると思います。関係者の皆様、ありがとうございました。

おまけ

「これって何人分の荷物ですか？」



・・・本当におしまい